

栗原小だより

新座市栗原 1-5-1 TEL 042-473-7070
HP <http://www.c-niiza.ed.jp/e-kurihara/>

～学校教育目標～
よく考え学ぶ子
心のゆたかな子
たくましい子

令和元年度 7月号
令和元年 7月 1日



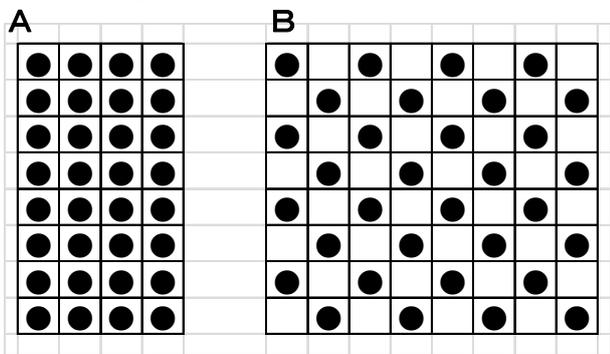
1学期、教育活動へのご協力 ありがとうございました

校長 保戸田 雅之

「思考の瞬発力」を鍛える

栗っ子は、総じて穏やかで優しいというのがよいところです。友達の話の根気よく聞いてあげることができます。授業中に指名されて、発言の中身がまとまらずに沈黙になってしまったとしても、話し始めるまで黙って待つことができます。

だからこそ、失敗を恐れずに、もっと自分の考えを言えたらいいのと思います。じっくり考え、よくまとまった発言も説得力があっていいのですが、時には、直感的に考えを述べることも挑戦してほしいです。



「●が多いのは、A、Bのどちらでしょう。5秒以内に答えなさい。」

数えて、あるいは計算して正確に答えるのではなく、直感的に、「Aの方が混み合っているから多いと思う。」「すきまが多いけど意外とBの方が多い。」などと言いつつ、「それじゃあ数えてみよう。」という学習の仕方も大事にしたいです。

実は、私自身が最も苦手としているところなのですが、やや不確定だとしても、「一定の根拠をもって瞬時に判断する」という力や、「与えられた時間内に自分なりの結論を出す」という力は、変化の激しい世の中を生き抜くためには必要なのではないかと考えます。

いつでも時間制限付きでは、じっくり考えることをしなくなってよくありませんが、栗っ子の「思考の瞬発力」を鍛え、より一層たくましくなってほしいと思います。

有意義な夏休みのために

本年度の1学期も、大変多くの保護者・地域の皆様にご協力いただき、本校の教育活動を推進することができました。心より感謝申し上げます。

あと3週間ほどでやってくる夏休みを有意義なものにするために、「日常とは違う環境に身を置いてみる」計画をぜひ立ててほしいと思います。場所も、時間も、過ごす相手も、学校ではできないことを基準に考え、「社会(世間)から学ぶこと」を大切にしてください。チャイムが鳴らない40日間、事故なく、健やかに過ごせることを願っています。

自分の身は自分で守る

6月24日(月)午前9時過ぎ、千葉県南東沖を震源とする地震がありました。そのとき私は、5年生の教室にいました。その学級は、誰一人声を発することなく、すぐ机の下に潜りました。その動きの素速いこと。そのとき私だけが立っていたので揺れに気付かず、一瞬何があったのかと、あっけにとられてしまいました。



少しして揺れは収まりましたが、子供たちの行動の的確さ、素速さに感動した私の心だけは、揺れが収まるのに少し時間がかかりました。そして、とても安心した気持ちになりました。

少しして揺れは収まりましたが、子供たちの行動の的確さ、素速さに感動した私の心だけは、揺れが収まるのに少し時間がかかりました。そして、とても安心した気持ちになりました。